

中華之昔伏羲氏初而

化八卦賜之浚神讓氏

諸之茶草ヲ撰取

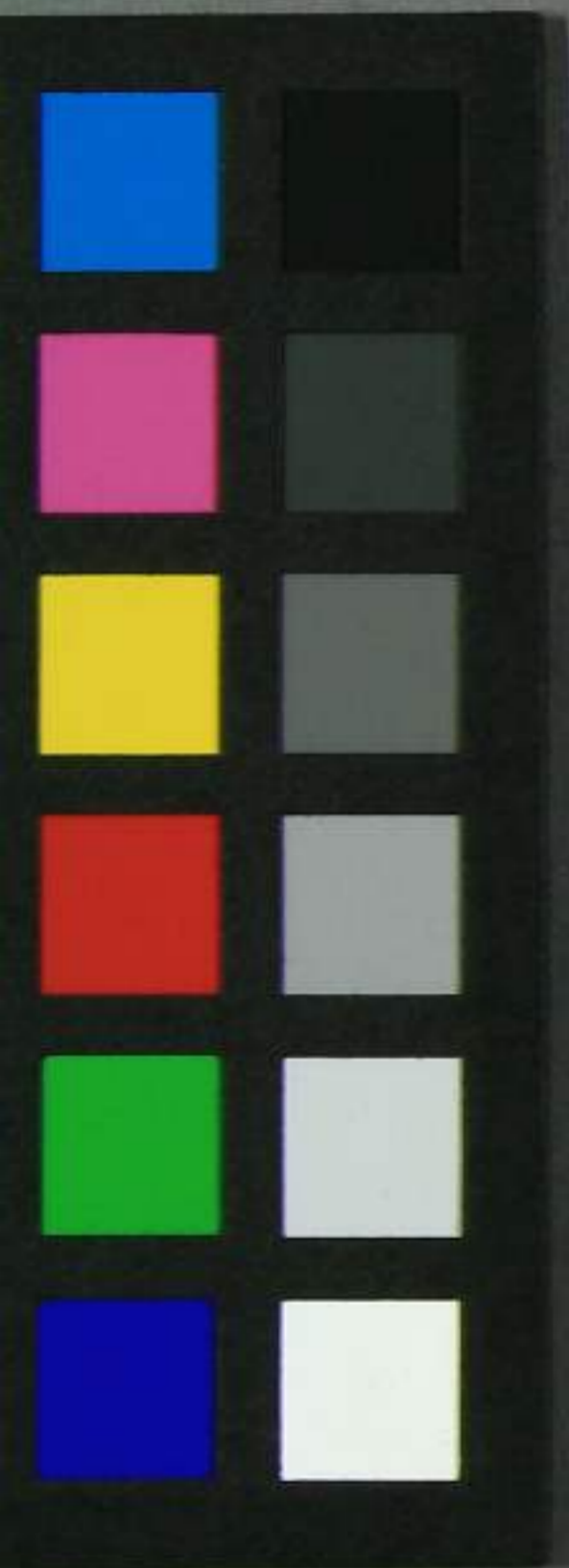
味之編ヲ胎肉

虚弱ヲ寧重賜而

い方は引妙藥集上

固

西園米本  
吉野牛次板





其

れいれんのせきりょうつうふ  
あかがくし  
けいけんをいふ  
ゆうやくとちん

其

つほうりてのちせ  
んあのはまる  
こんびのめら  
ろくたぐのけん

其

まうちましまし  
ちちあまへま  
けんけん  
せんどのむく

其

むまのあま  
けくく  
ちちあま  
けりりのむく

其

うらうら  
んごま  
むらのち  
ほでのむく

其

ねむせう  
おとろ  
るが  
あくく

其

らのび  
いてう  
せん  
るあ

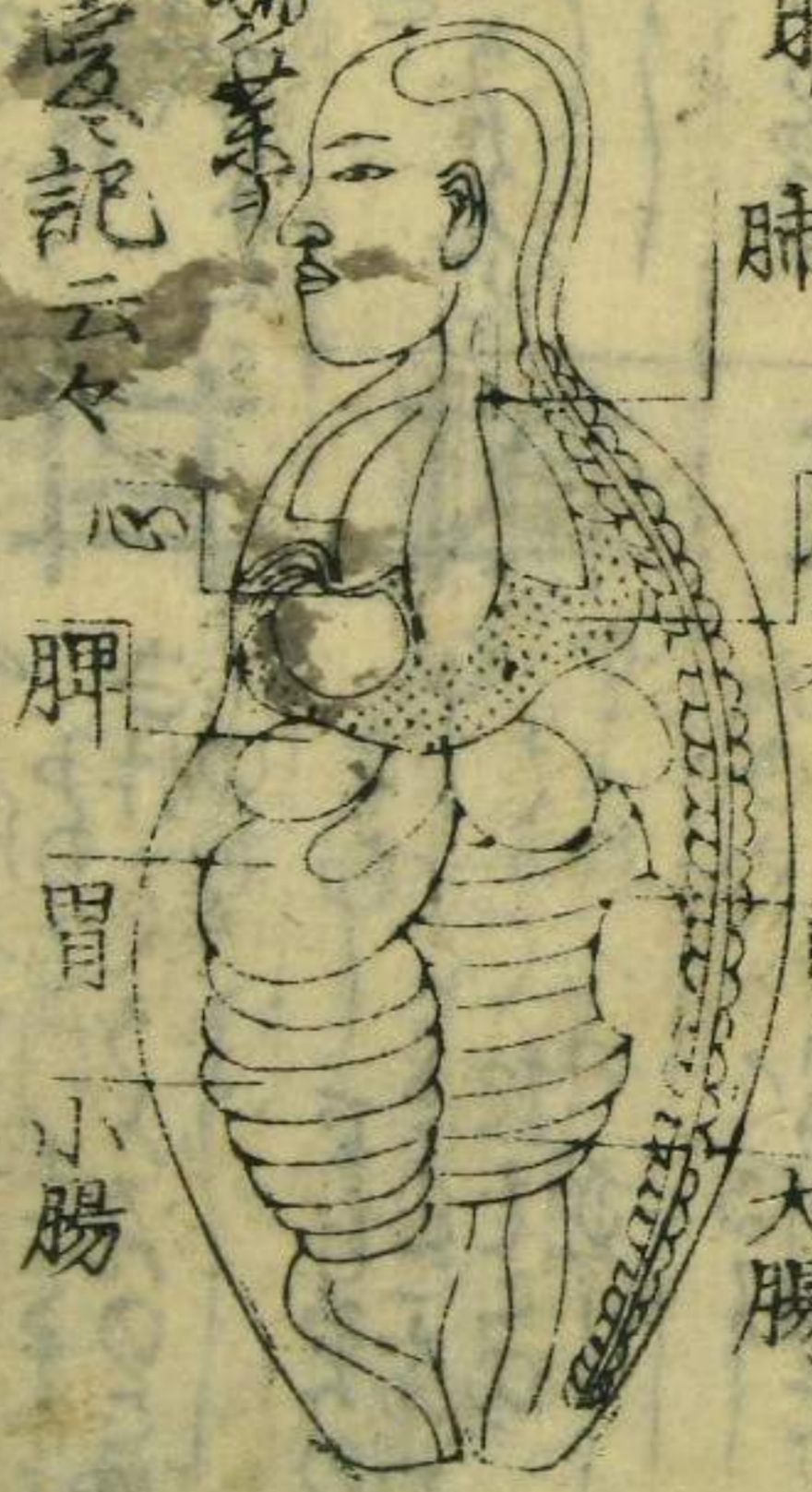
其

うい  
ま  
のせ

のりはら妙薬集下

西国米次郎三丁目  
真吉井半次板

使至其處事明  
觀察賜テ醫  
之道ヲ初揚然者  
其諸所引定其妙薬ヲ  
撰集諸人令助而定記云々



肺

膈幕

腎

大腸

心

脾

胃

小腸



其

みづどれのせいの  
めけがらうせいの  
こらうよつげくさう  
ちむむがう

其

あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ  
せんじのむむ

其

ののらあてあさう  
あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ

其

すたあひののせいの  
あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ

其

あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ  
せんじのむむ

其

あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ  
せんじのむむ

其

あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ  
せんじのむむ

其

あはせいのとたをり  
あひびがうこらう  
あそとむたとけ  
せんじのむむ